

第 27 回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日 時 平成 18 年 3 月 9 日 (木) 13:30 ~ 21:00

場 所 西宮市男女参画センター

出席者 (委員) 松本(誠)、川谷、加藤、佐々木、田村、中川
浅見、伊藤、草薙、酒井、土谷、松本(俊)、山仲
(河川管理者) 田中、渡邊、松本、前川、西村、合田
(河川整備課) 糟谷
(事務局) 黒田、前田、植田、木本

内 容(協議結果)

1 河道対策の検討

協議した結果、次の事項を確認した。

本川上流及び支川の河道対策については、次回WT会議(3月14日)で、継続して協議する。

河川管理者は、本川上流及び支川の流量配分、計画規模について、評価方法(基準点評価及び地先評価)別に整理する。あわせて、評価方法(基準点評価及び地先評価)の違い、考え方等について整理し、次回のWT会議に報告する。

「5つの対策メニュー」の加筆修正については、次回WT会議で協議する。

第24回WT会議で協議した基本方針と現在協議している整備計画を次回流域委員会(3月21日)に報告する。

2 貯留施設の検討

協議した結果、次の事項を確認した。

利水ダムの活用について、常時水位を引き下げて治水容量を確保する方法は、利水との調整等に長期間を要すると考えられることから、長期的な課題とする。

大降雨が予想される前に一時的に水位を下げて治水容量を確保する方法(一時転用)については、洪水調節ゲートの設置等施設改良を前提に継続協議とする。

効果量の試算を行っていない利水ダム(川下川ダム、深谷池)については、委員会として検討する必要があることから、試算する。

中・下流の公共施設・都市施設に遊水地機能を付加する案については、費用対効果等から一部の候補地を除いて、採用しない。候補地の所有者を確認の上、都市部の内水対策として検討していくことを含め、再度協議(課題整理)する。

河川管理者は、武庫川ダムをゼロベースからの検討課題にした理由、その経緯のほか、検討すべきダムの効果、機能、形状等に関する資料(評価表等ダムの検討判断材料)を次回WT会議に提出する。

3 その他

(1) 次回以降の会議の協議事項

河道対策

遊水地(公共施設・都市施設)の可能性及び数値化

利水ダムの活用及び新規ダム

(2) 今後の日程（開催日時）

第28回	3月14日（火）	13：30～
第29回	3月23日（木）	16：00～
第30回	3月29日（水）	13：30～
第31回	4月7日（金）	13：30～
第32回	4月11日（火）	13：30～
第33回	4月19日（水）	17：30～
第34回	4月25日（火）	13：30～

当日配付資料

資料1 河川整備計画における河道改修について（本川上流区間・支川の整備区
間設定）

資料2 武庫川における利水ダムの検討（利水ダムの利水容量転用による洪水調
節方法について）

資料3 武庫川広域下水道処理実績推移（伊藤委員提出）

資料4 利水ダムの治水転用についての問題点の整理（村岡委員提出）

参考資料1 工事实施基本計画と全体計画

参考資料2 【第26回WT会議メモ】「河道対策5つのメニュー」についての第25
回WT会議の集約

参考資料3 武庫川総合治水対策の効果量（試算）